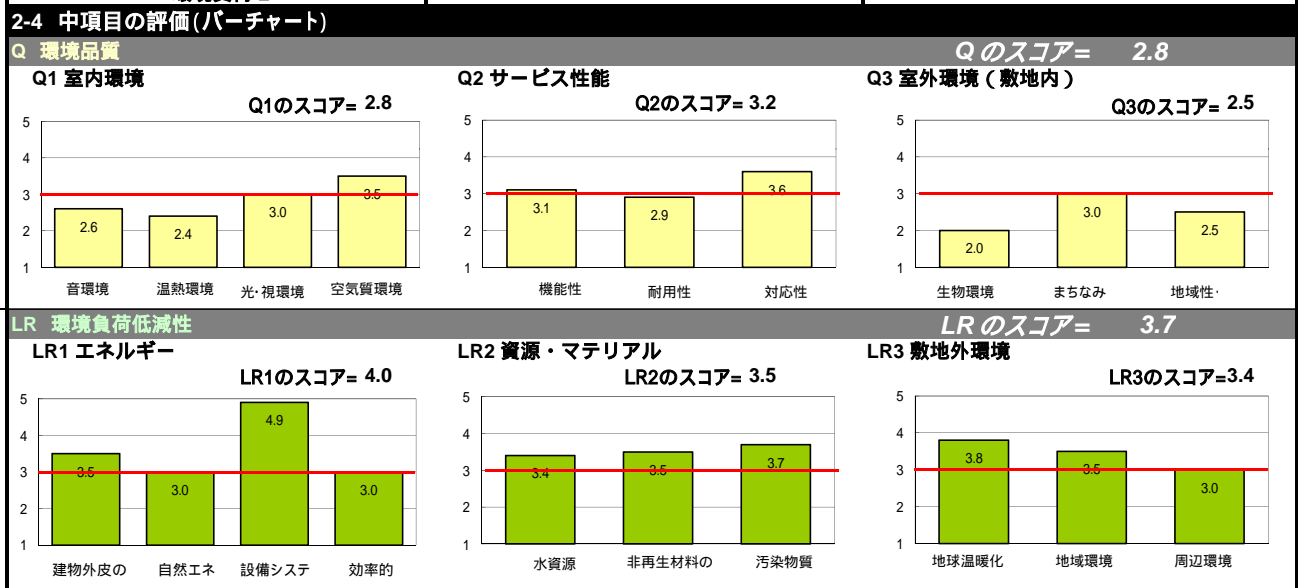
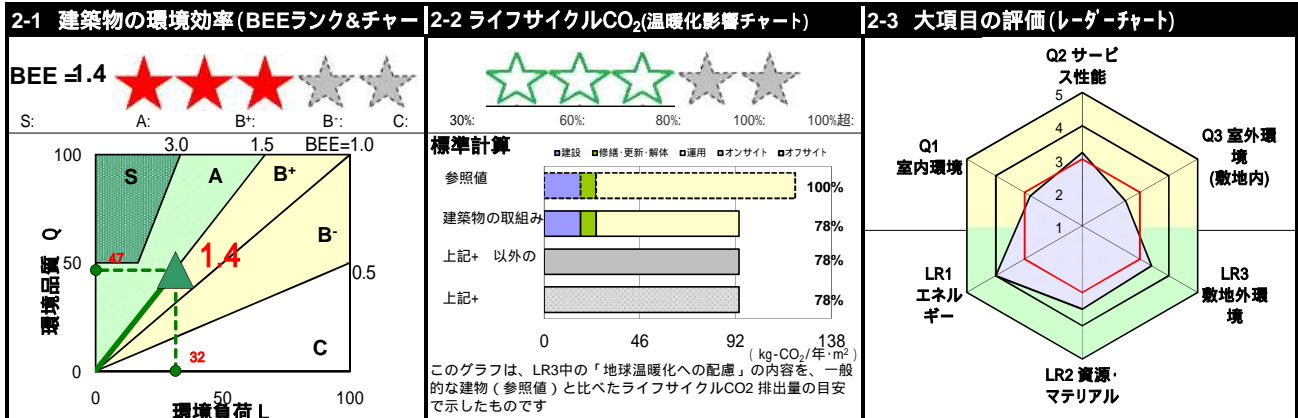


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大和ビルディング大和市深見台1丁目計画	階数	地上3F
建設地	大和市深見台1丁目1126番1、1126番2、1126番3	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	100人
気候区分		年間使用時間	3,600時間/年
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年4月 予定	評価の実施日	2015年4月28日
敷地面積	4,102 m ²	作成者	(株)福田組東京本社
建築面積	2,910 m ²	確認日	2015年4月28日
延床面積	7,934 m ²	確認者	(株)福田組東京本社

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>敷地形状を十分に考慮し建物の配置を行い、出来るだけ緑地を設けた。 1階部分の駐車場は十分な階高をとり、歩道から圧迫感を感じないように開口部を大きく計画した。</p>		その他
<p>Q1 室内環境</p> <p>室内仕上げにおいてほぼ全体的にFを採用し、規制対象外となる部分もFの使用に努めた</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>階高にゆとりを持ち、売場の天井高さも3.99m確保した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>緑化率15.18%確保した</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>効率のよい設備機器を採用し、評価建物の設計一次エネルギー消費を確保した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>リサイクル建材として、路盤材として再生骨材を採用した。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>燃焼機器は使用せず、大気汚染、悪臭を生じる恐れのある材料・仕上げは使用しなかった。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される